

施策評価シート

幹事部局

商工労働部

施策の名称	IV-2-(2) 若者の県内就職の促進
施策の目的	高校生や県内外に進学した学生に、県内産業やそこで働く人に触れる機会などを提供し、島根で働く魅力を伝え県内就職を促進します。
施策の現状に対する評価	<p>①(県内高校からの県内就職の促進)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人材確保育成コーディネーターを配置(東部4名、西部3名)し、高校が行う企業ガイダンスや企業見学ツアーの実施の支援、生徒が県内企業を学ぶセミナーを実施するなど、高校のキャリア教育と連携して生徒の県内企業への理解を進めている。R3年度の県内就職率は、78.5%と近年で最高となった。西部や隠岐地区の県内就職率は低い。 <p>②(県内外の大学等からの県内就職の促進)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県内に人材確保育成コーディネーター(3名)、県外に学生就職アドバイザー(大阪1名、山陽地区10名(一部業務委託))を配置し、企業と学生等との交流会や企業見学ツアー、学生との個別相談などを実施することで、低学年次からの県内就職の意識付けが進んでいる。 ・ジョブカフェしまねと連携し企業の情報発信、採用活動や学生の就職活動の支援も行っており、県外四年制大学の島根県出身者の県内就職率は30.9%に増加。また、県内大学等については、産学官人材育成コンソーシアムにより学生が企業を知る機会を創出するなどにより、37.9%と増加した。 <p>③(県内私立高校、専修学校からの県内就職の促進)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・私立高校、専修学校の魅力的な教育環境の整備や人材確保育成コーディネーター等により県内就職を支援しており、近年の県内就職率は少しずつではあるが上昇傾向にある。 <p>(前年度の評価後に見直した点)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県内外の学生に情報を確実に届けるため、しまね登録(アプリ)や大手就活サイトの活用、保護者向けの情報発信や就活セミナーの開催、女子の視点での企業情報の発信などの取組を強化した。また、企業が行う情報発信の改善「採用ブランディング」の取組を支援した。 ・県外の学生に対して、学生就職アドバイザーを増員し低学年次からの学生相談を強化した。
今後の取組の方向性	<p>①(コロナ禍における対応)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍でオンラインの有効性が確認されたことから、合同企業説明会などは対面とオンラインを効果的に組み合わせて実施する。 <p>②(県内高校からの県内就職の促進)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人材確保育成コーディネーターが各学校の実情に応じ、生徒と企業を繋ぐ対策等を進める。 <p>③(県内外の大学等からの県内就職の促進)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中国地方を最重点地域とし、産学官人材育成コンソーシアムとの連携や増員した学生就職アドバイザーによる取組を強化していく。 ・また、ジョブカフェしまねと連携したインターンシップやしまね登録等の活用・強化のほか、大手就活サイトの活用や保護者向けセミナーなどを実施し、企業・就活情報を広く届けていく。 <p>④(県内私立高校、専修学校からの県内就職の促進)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・引き続き学校の取組を支援し、また、関係者と連携して学生の就職活動を支援し、県内就職を進めていく。 <p>⑤(企業の採用力強化)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・専門家の派遣により、各企業の採用に関する課題点を洗い出し、改善を促す。 ・また、その課題解決を支援できる施策等について検討する。

事務事業の一覧

施策の名称	IV-2-(2) 若者の県内就職の促進
-------	---------------------

No.	事務事業の名称	目的		前年度の 事業費 (千円)	今年度の 事業費 (千円)	所管課名
		誰(何)を対象として	どういう状態を目指すのか			
1	島根を創る人づくりプロジェクト	県民(主に若年層)	島根の次代を担う若者の「育成」と「還流」を一体的・系統的に推し進め、県内定着等の一層の促進を図る。	10,290	10,290	政策企画監室
2	私立学校経営健全性確保事業	私立学校・学校法人	私立学校の教育条件の維持向上と経営の健全性を高める	1,511,347	1,525,127	総務部総務課
3	私立学校生徒確保事業	私立学校・学校法人	私立学校の特徴ある教育の魅力を高めるとともに、公立高等学校との連携を図り、入学生徒数を確保する。	99,196	43,871	総務部総務課
4	若年者県内就職促進事業	・高校生及び大学生等	・県内企業への就職を促進する。	344,141	467,529	雇用政策課
5						
6						
7						
8						
9						
10						
11						
12						
13						
14						
15						
16						
17						
18						
19						
20						
21						
22						
23						
24						
25						

事務事業評価シート

1 事務事業の概要

担当課

政策企画監室

事務事業の名称		島根を創る人づくりプロジェクト			
目的	誰(何)を対象として	県民(主に若年層)	事業費 (千円)	令和3年度の実績額	令和4年度の当初予算額
	どのような状態を目指すのか	島根の次代を担う若者の「育成」と「還流」を一体的・系統的に推し進め、県内定着等の一層の促進を図る。		10,290	10,290
			うち一般財源 (千円)	10,290	10,290
令和4年度の取組内容		・今年度は、下記のテーマについて、特に力を入れて関係部局、関係機関と熟議・検討する。 (1)プロジェクトの進捗管理、評価・検証手法として、主要な取組についてのロードマップ作成 (2)首都圏・関西圏のUターン(ターン)施策の強化 ・昨年度からの継続的な取組として、モデル事業(学生とのつながりづくり事業)を開始した6市町を初めとする県内全市町村と意見交換会を実施			
令和3年度に行った評価を踏まえて見直した点					
1	上位の施策	IV-1-(1) 学校と地域の協働による人づくり	3	上位の施策	IV-1-(3) 地域を担う人づくり
2	上位の施策	IV-2-(1) しまねの「暮らし」や「魅力」の情報発信	4	上位の施策	IV-2-(2) 若者の県内就職の促進

2 KPI(重要業績評価指標)の状況

KPIの名称		年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	単位	計上分類
1	県内大学等の県内就職率【当該年度3月時点】	目標値		36.1	36.9	37.7	38.5	39.4	%	単年度値
		実績値	29.4	32.7	37.9					
		達成率	—	90.6	102.8	—	—	—		
2	県外4年制大学の島根県出身者の県内就職率【当該年度3月時点】	目標値		29.0	30.0	30.0	31.0	31.0	%	単年度値
		実績値	26.6	27.9	30.9					
		達成率	—	96.3	103.0	—	—	—		
KPIの他に参考とすべきデータや客観的事実		(しまね産学官人材育成コンソーシアムのKPI) ・県内高等教育機関卒業生の県内就職率 令和3年度 37.9% (令和6年度目標値 39.4%)								

3 現状に対する評価

成果	「目的」の達成に向けた取組による改善状況	・若者の「育成」と「還流」に資する新規・拡充事業について、関係会議で議論・検討し、関係課のR4当初予算へ反映した。 ・具体的には、低学年次からの学生とのつながりづくりを強化するため、LINEによるセグメント配信等が可能となる「しまね登録」の整備や、県外への進学先として最も割合が高い山陽地域の学生就職アドバイザーの増員等を行った。 ・また、出身学生とのつながりづくりに取り組む市町村を支援するモデル事業や、中期的な取組を共有するロードマップの作成作業などとおして、市町村や県内大学とは、本プロジェクトの情報共有が図られた。 ・しまね産学官人材育成コンソーシアムでは、県内大学生等と県内企業等との接点を増やす仕組をより具体的に検討するため、高等教育機関のワーキンググループと経済団体のワーキンググループを設置した。
課題分析	① 課題	・本プロジェクトの進捗管理、評価・検証ツールとして、ロードマップの作成に取り組んでいるが、完成に至っていない。 ・上記のモデル事業に取り組む市町村など、一部の市町村や県内大学とは、本プロジェクトの情報共有が図られるようになったが、他の市町村や企業・経済団体等との情報共有や連携が十分ではない。 ・若者を含むUターン・ターン者数の減少傾向が続いている。
	② 原因	・全庁的にロードマップによる進捗管理、評価・検証に慣れていないこともあり、関係者間でロードマップを作成する意義や完成イメージの共有ができていない。 ・本プロジェクトの概要や成果について、対外的な周知やPRが十分にできていない。 ・少子化の影響等で県外の島根県出身者も減少しており、また、Uターンについても、全国で自治体間の競争が激しくなっている。
	③ 方向性	・ロードマップについては、引き続き、庁内外の関係者と議論・検討を行い、7～8月を目途に完成させる。 ・市町村との意見交換会や、県の重点広報枠を活用し、本プロジェクトの取組内容や成果等についての周知・PRを図る。 ・関係課における、山陽圏域での学生への支援体制の強化や、Uターン・ターン者減少の要因分析結果等を踏まえ、プロジェクト全体でUターン・ターンの推進に資する取組について議論・検討する。

事務事業評価シートの別紙

事務事業の名称	島根を創る人づくりプロジェクト
---------	-----------------

「上位の施策」が5以上ある場合のみ記載

5	上位の施策	IV-2-(3) Uターン・Iターンの促進
6	上位の施策	IV-2-(4) 関係人口の拡大
7	上位の施策	
8	上位の施策	

「KPI」が3以上ある場合のみ記載

	KPIの名称	年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	単位	計上
			目標値	実績値	達成率	目標値	実績値	達成率		目標値
3	年間Uターン者数【当該年度4月～3月】	目標値		2,408.0	2,478.0	2,548.0	2,618.0	2,688.0	人	単年度 値
		実績値	2,234.0	2,144.0	2,001.0					
		達成率	—	89.1	80.8	—	—	—		
4	年間Iターン者数【当該年度4月～3月】	目標値		1,545.0	1,570.0	1,595.0	1,620.0	1,645.0	人	単年度 値
		実績値	1,319.0	1,464.0	1,316.0					
		達成率	—	94.8	83.9	—	—	—		
5	将来、自分の住んでいる地域のために役立ちたいという気持ちがあると回答した生徒の割合【当該年度7月時点】	目標値		70.1	71.4	72.8	74.2	75.6	%	単年度 値
		実績値	68.7	69.3	70.9					
		達成率	—	98.9	99.3	—	—	—		
6	高校魅力化コンソーシアムに参画している高校数【当該年度3月時点】	目標値		25.0	30.0	35.0	35.0	35.0	校	累計値
		実績値	10.0	28.0	35.0					
		達成率	—	112.0	116.7	—	—	—		
7	教員籍以外の社会教育主事講習受講者数【当該年度4月～3月】	目標値		40.0	40.0	60.0	60.0	60.0	人	単年度 値
		実績値	19.0	73.0	80.0					
		達成率	—	182.5	200.0	—	—	—		
8		目標値								
		実績値								
		達成率	—	—	—	—	—	—		
9		目標値								
		実績値								
		達成率	—	—	—	—	—	—		
10		目標値								
		実績値								
		達成率	—	—	—	—	—	—		

事務事業評価シート

1 事務事業の概要

担当課

総務部総務課

事務事業の名称		私立学校経営健全性確保事業			
目的	誰(何)を対象として	私立学校・学校法人	事業費 (千円)	令和3年度の実績額	令和4年度の当初予算額
	どういう状態を目指すのか	私立学校の教育条件の維持向上と経営の健全性を高める		1,511,347	1,525,127
			うち一般財源 (千円)	1,293,672	1,303,355
令和4年度の取組内容		・教育の維持向上を図るため、私学教育振興会の研修事業を活用した教職員の質の向上を支援、処遇改善のため私学退職金共済の掛け金を助成する。 ・私立中学校、高等学校及び専修学校の経営の健全性を高めるため、経常的経費を助成する。			
令和3年度に行った評価を踏まえて見直したこと					
1	上位の施策	IV-1-1(1) 学校と地域の協働による人づくり	3	上位の施策	IV-2-2(2) 若者の県内就職の促進
2	上位の施策	VI-1-1(1) 発達の段階に応じた教育の振興	4	上位の施策	

2 KPI(重要業績評価指標)の状況

KPIの名称		年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	単位	計上分類
1	私立高等学校生の県内就職率【当該年度3月時点】	目標値		78.0	80.0	82.0	85.0	87.0	%	単年度値
		実績値	70.2	74.8	78.2					
		達成率	—	95.9	97.8	—	—			
2	私立専修学校生の県内就職率【当該年度3月時点】	目標値		68.0	70.0	72.0	74.0	76.0	%	単年度値
		実績値	60.7	62.0	63.7					
		達成率	—	91.2	91.0	—	—			
KPIの他に参考とすべきデータや客観的事実		私立高校生の県内就職率の推移 H28:74.3%(254/342人)、H29:76.0%(273/359)、H30:77.7%(244/314)、R1:70.2%(254/362)、R2:74.8%(225/301)、R3:78.2%(201/257) 私立専修学校生の県内就職率の推移 H28:69.8%(563/807人)、H29:63.3%(501/792)、H30:65.8%(493/749)、R1:60.7%(432/712)、R2:62.0%(413/666)、R3:63.7%(473/743) 私立高等学校の生徒数の推移 H28:4,216人、H29:4,159人、H30:4,029人、R1:3,951人、R2:3,877人、R3:3,762人								

3 現状に対する評価

成果	「目的」の達成に向けた取組による改善状況	・教育の維持向上と学校の経営の健全性を高めるため、補助金や補助メニューを拡充している。
課題分析	① 課題	・県内からの入学生が減少傾向にあり、授業料収入が減少することで、経営の健全性が悪化している。 ・また、県内からの入学生の減少に対処するため、県外からの入学生の受け入れを拡大しているが、受け入れ環境整備などの経費が増加している。
	② 原因	・上記①(課題)が発生している原因
	③ 方向性	・経営健全性を確保するためには、私立高等学校・専修学校自らが魅力的な教育環境の整備に取り組むなど生徒確保を進めていく必要があり、県はこうした取組を引き続き支援していく。 ・私立高等学校・専修学校の卒業生が県内就職できる環境を整備することも必要であり、関係者と連携して、学生の就職活動を支援していく。

事務事業評価シート

1 事務事業の概要

担当課

総務部総務課

事務事業の名称		私立学校生徒確保事業			
目的	誰(何)を対象として	私立学校・学校法人	事業費 (千円)	令和3年度の実績額	令和4年度の当初予算額
	どういう状態を目指すのか	私立学校の特色ある教育の魅力を高めるとともに、公立高等学校との連携を図り、入学生徒数を確保する。		99,196	43,871
令和4年度の取組内容		・私立高等学校、専修学校が、魅力と特色ある学校づくりを進めるため、学校法人に対し取組に要する経費を助成する。 ・島根県公・私立高等学校教育連絡協議会において、教育に関する諸問題について協議し、学校教育の振興を図る。			
令和3年度に行った評価を踏まえて見直したこと					
1	上位の施策	VI-1-(3) 学びを支える教育環境の整備	3	上位の施策	
2	上位の施策	IV-2-(2) 若者の県内就職の促進	4	上位の施策	

2 KPI(重要業績評価指標)の状況

KPIの名称		年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	単位	計上分類
1	私立高等学校における定員充足率【当該年度5月時点】	目標値	-	-	-	76.4	76.4	76.4	%	単年度値
		実績値	79.3	77.7	76.4					
		達成率	-	#VALUE!	#VALUE!	-	-	-		
2	私立高等学校生・私立専修学校生の県内就職率【当該年度3月時点】	目標値	-	71.0	73.0	75.0	77.0	79.0	%	単年度値
		実績値	63.9	66.0	67.4					
		達成率	-	93.0	92.4	-	-	-		
KPIの他に参考とすべきデータや客観的事実		私立高校生の県内就職率の推移 H28:74.3%(254/342人)、H29:76.0%(273/359)、H30:77.7%(244/314)、R1:70.2%(254/362)、R2:74.8%(225/301)、R3:78.2%(201/257) 私立専修学校生の県内就職率の推移 H28:69.8%(563/807)、H29:63.3%(501/792)、H30:65.8%(493/749)、R1:60.7%(432/712)、R2:62.0%(413/666)、R3:63.7%(473/743)								

3 現状に対する評価

成果	「目的」の達成に向けた取組による改善状況	・私立高等学校の定員充足率は、近年は下降傾向にあるが、少子化の進展に伴い生徒数が減少している中、県内高校生に占める私立高校生の割合は横ばいとなっており、踏みとどまっている。 ・私立高等学校・専修学校の県内就職率は、近年は少しずつではあるが上昇傾向にある。
課題分析	① 課題	・入学希望者を増やすためには、魅力と特色ある学校づくりが必要であるが、県内の私立高等学校には、こうした取組を進める上で必要となる人的、物的、金銭的な余裕がない。
	② 原因	・少子化の進展に伴い生徒数が減少している。 ・県内からの入学生が減少傾向にある中で、県外出身の生徒を受け入れるための環境整備など学校経営に必要な経費が増加している。
	③ 方向性	・経営健全性を確保するためには、私立高等学校・専修学校自らが魅力的な教育環境の整備に取り組むなど生徒確保を進めていく必要があり、県はこうした取組を引き続き支援していく。 ・私立高等学校・専修学校の卒業生が県内就職できる環境を整備することも必要であり、関係者と連携して、学生の就職活動を支援していく。

事務事業評価シート

1 事務事業の概要

担当課

雇用政策課

事務事業の名称		若年者県内就職促進事業			
目的	誰(何)を対象として	・高校生及び大学生等	事業費 (千円)	令和3年度の実績額	令和4年度の当初予算額
	どういう状態を目指すのか	・県内企業への就職を促進する。		344,140	467,529
			うち一般財源 (千円)	295,001	325,911
令和4年度の 取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ 高校生に対しては、高校地域の実情に応じて、県内高校と連携生徒と企業の交流会等を実施 ・ 県内大学生に対しては、産学官人材育成コンソーシアム構成員(大学、企業、県等)が一体となり県内企業を知る機会を創出 ・ 県外大学生に対しては、県外6拠点に配置した11名の学生就職アドバイザーを中心に、学生と企業の交流会や相談会を実施 ・ 女子学生に対しては、女子の視点での情報発信や、女子学生の就職の選択肢を広げるためのイベントを実施 ・ 企業の採用活動の改善支援、アプリや大手就活サイトを活用した就職情報の発信、保護者向けの情報発信 ・ ジョブカフェしまねにおいて、職業相談から就職までを一貫して支援 				
令和3年度に行った 評価を踏まえて 見直したこと	<ul style="list-style-type: none"> ・ 学生と企業の交流会や相談会を強化するため、学生就職アドバイザーを増員 ・ 学生に情報を届けるため、LINEを活用した情報発信の構築や(株)マイナビとの業務提携による情報発信を実施 ・ 学生が企業を選択するポイントなどを踏まえた採用の課題を明確にし、支援策等を助言するため、県内企業に専門家を派遣 				
1	上位の施策	IV-2-(2) 若者の県内就職の促進	3	上位の施策	IV-1-(3) 地域を担う人づくり
2	上位の施策	I-3-(1) 多様な就業の支援	4	上位の施策	

2 KPI(重要業績評価指標)の状況

KPIの名称		年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	単位	計上 分類
1	高校卒業時の県内就職率【当該年度3月時点】	目標値		76.0	78.0	80.0	84.0	84.0	%	単年度 値
		実績値	75.0	78.3	78.5					
		達成率	—	103.1	100.7	—	—	—		
2	県内企業の採用計画人数の充足率【当該年度3月時点】	目標値		100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	%	単年度 値
		実績値	76.8	76.0	72.6					
		達成率	—	76.0	72.6	—	—	—		
KPIの他に参考とすべき データや客観的事実		<ul style="list-style-type: none"> ・ 県内企業の採用計画人数の充足率(%) H29 72.2、H30 75.4、R1 76.8、R2 76.0、R3 72.6 ・ 県外4年制大学の島根県出身者の県内就職率(%) H29 29.5、H30 28.1、R1 26.6、R2 27.9、R3 30.9 ・ 就職支援協定校の県内就職率(関西・山陽)(%) H30 35.9、R1 30.6、R2 33.9、R3 37.5 ・ 県内大学等の県内就職率(%) H30 35.5、R1 29.4、R2 32.7、R3 37.9 ・ しまね(学生)登録の登録率(%) H29 78.3、H30 77.4、R1 83.3、R2 81.6、R3 64.8 								

3 現状に対する評価

成果	「目的」の達成に向けた取組による改善状況	<ul style="list-style-type: none"> ・ 高校生に関しては、人材育成コーディネーターを増員し、企業交流会等の実施回数・参加数が増加した R2 24校 4,204名→R3 35校 7,337名 ・ 大学生等に関しては、学生相談等を実施し、また、学生就職アドバイザーを増員し新たに大学等への関係構築を進めている [県内] R2 508名→R3 1,237 [学生就職AD相談件数(実人数)] R3 大阪 61件(72名)、広島 2,026件(214名) ・ 保護者向けセミナーを実施し、概要を新聞で周知するなどにより、保護者の意識向上を促した(新型コロナの影響で3→2回) [高校生の保護者向け] R3 36名 [大学生の保護者向け] R3 71人 ・ 採用ブランディングを実施する企業を支援し、企業の情報発信の改善を進めた R3 10社
課題分析	① 課題	<ul style="list-style-type: none"> ・ 就学、卒業及び就職を理由とする人口増減(15歳～24歳)は、H28以降男性と比較して女性の方が転出超過が多い傾向(ここ2年は男女とも700人台で推移) ・ 有効求人倍率が全国2位であり、採用が充足していない企業が多い
	② 原因	<ul style="list-style-type: none"> ・ 高校生、大学生等や保護者に県内企業の情報などが十分に伝わっておらず、県内就職・県内企業に対する理解が不足 ・ 採用が充足していない企業の原因分析が不十分 ・ 全国的に企業の採用スケジュールが年々早期化する中、県内企業は従前のままの企業が多い
	③ 方向性	<ul style="list-style-type: none"> ・ 人材確保育成コーディネーターが高校生と企業を繋ぐとともに、地域の実情に応じ高校毎に必要な対策を進める ・ 県内大学生には、しまね産学官人材育成コンソーシアムを中心に各機関が連携して、学生への企業情報の提供を進める ・ 県外大学生には、大阪・広島の学生就職アドバイザーを中心に大学や学生とのつながりを強化していく ・ 女子の視点での企業情報の発信や、文系学生が活躍する職種のPRなどにより、女子学生の県内就職を促進する ・ 学生の企業選択ポイント等を踏まえた採用の課題を明確にし、いきいき職場づくりや採用ブランディング等の支援策を助言する ・ アプリや大手就活サイトを活用した企業情報を発信し、また、教育委員会との連携などにより保護者向けの情報を発信する ・ 県内企業の採用スケジュールの早期化に向け、全国の動きを注視し、県内企業への周知などを進める

事務事業評価シートの別紙

事務事業の名称	若年者県内就職促進事業
---------	-------------

「上位の施策」が5以上ある場合のみ記載

5	上位の施策	
6	上位の施策	
7	上位の施策	
8	上位の施策	

「KPI」が3以上ある場合のみ記載

	KPIの名称	年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	単位	計上
										分類
3	県外4年制大学の島根県出身者の県内就職率【当該年度3月時点】	目標値		29.0	30.0	30.0	31.0	31.0	%	単年度値
		実績値	26.6	27.9	30.9					
		達成率	—	96.3	103.0	—	—	—		
4	就職支援協定校の県内就職率(関西・山陽)【当該年度3月時点】	目標値		36.0	37.0	38.0	42.0	43.0	%	単年度値
		実績値	30.6	33.9	37.5					
		達成率	—	94.2	101.4	—	—	—		
5	県内大学等の県内就職率【当該年度3月時点】	目標値		36.1	36.9	37.7	38.5	39.4	%	単年度値
		実績値	29.4	32.7	37.9					
		達成率	—	90.6	102.8	—	—	—		
6	県内高校進学予定者のうちしまね学生登録者の割合【当該年度3月時点】	目標値		100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	%	単年度値
		実績値	83.3	81.6	64.8					
		達成率	—	81.6	64.8	—	—	—		
7	「しまね産学官人材育成コンソーシアム」構成機関がマッチングしたインターンシップ数【当該年度3月時点】	目標値		660.0	670.0	680.0	690.0	700.0	件	単年度値
		実績値	—	948.0	1,097.0					
		達成率	—	143.7	163.8	—	—	—		
8		目標値								
		実績値								
		達成率	—	—	—	—	—	—		
9		目標値								
		実績値								
		達成率	—	—	—	—	—	—		
10		目標値								
		実績値								
		達成率	—	—	—	—	—	—		